



学校だより

令和元年度夏休み号

文教大学附属小学校

<https://www.bunkyo.ac.jp/bkshogak/>



百見は一考にしかず 百考は一行にしかず

～明日から夏休み！～

校長 島野 歩

7月に入っても長雨が続けていますが、それでも梅雨の合間の夜空を見上げると、天の川が美しく輝いています。さあ、明日から夏休み！

本日、手渡された通知表「あゆみ」には、子どもたち一人一人の星々の輝きのごとく成長の輝きが記されています。「あゆみ」の学習の様子欄には、それぞれの教科で学習した内容の各観点からお子様の状況が記載してあります。「よかった、悪かった」とだけ見るのではなく、どの教科のどの観点で子どもの力が発揮されたのか、どんな成果が上がったのか、「よさを認め励ます材料」にしていただきますようお願いいたします。



さて、夏休みを前に、ぜひチャレンジすること・行動することの大切さについて触れさせていただきたいと思います。

「百聞は一見にしかず」よく聞く言葉です。実際にこの目で見て確かめることが大切である。その通りです。実は、この言葉には続きがあります。

「百見は一考にしかず」「百考は一行にしかず」・・・思い描いた成果を出すには、よく聞いて、事実を見て、自分の頭で考え、行動に移さなければ、よりよい成果にはつながらない！ということを教えてくれています。

長い夏休み！ぜひとも子どもたちには「百考」「百行」を実践してほしいと願っています。実践することをためらわず、「チャレンジの夏」にしてください。

新学期にまた大好きな子どもたちの元気いっぱいの笑顔に会えること、心から楽しみにしております。保護者の皆様の温かいご支援に感謝いたします。

百聞は一見にしかず

百見は一考にしかず

百考は一行にしかず

文教まつり！ありがとうございました！

「父母の会」の保護者のみなさま。
笑顔いっぱいの幸せなひとときを
ありがとうございました。



◆通知表の見方について◆



★「大変よい よい もう少し」は・・・観点別絶対評価です。

- ①学習目標に対して、一人一人の達成度を見る「目標に準拠した評価」をしています。
- ②各学年の学習目標や内容は、学習指導要領（法規で定められた文部科学省が示す指導指針）や本校の教育目標などを踏まえて、学習内容ごとに具体的な「評価規準」を作成しています。学年の学習目標ですので、前年の評価とは一概には比較できません。
- ③児童一人一人の学習状況を、きめ細かく分析的に正確にとらえるために、「関心・意欲・態度」「知識・理解」「思考・判断・表現」などの観点があります。（観点は教科により多少違いがあります。）
- ④「大変よい」は「学年目標を十分に達成し、さらに発展的にできている」状態です。「よい」は「学年目標をほぼ達成している、おおむね満足している」状態です。ご家庭で大いに褒めたり認めたりしてください。「もう少し」は「もう少し努力すると学年目標に達する」状態です。決して叱る材料ではありません。教師も、次の指導手立てを考えています。



☆観点別達成状況を確認して、お子様を褒めたり認めたり、さらに励ましたりするための通知表「あゆみ」ととらえてください。

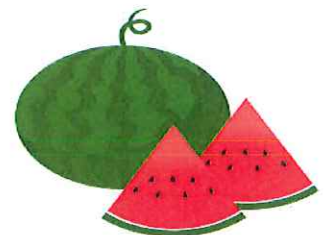
通知表は、「学校と家庭を結ぶ心の架け橋」です。

◆楽しい充実した夏休みに◆

★夏休みの目標・・・長い夏休みでなければできない体験を楽しみ、自分で課題を作って最後までやり遂げる喜びや充実感・成就感を味わおう！

★守ること・注意すること

- 生活
 - ①早寝早起きなど、規則正しい生活をする。
 - ②時刻や時間を決めて学習し、学習習慣を継続する。
 - ③テレビやゲームの時間を決める。
 - ④宿題には計画的に取り組む。
- 安全
 - ①外出は必ず行き先を告げ、保護者の許可を得る。
 - ②帰宅時刻を守る。
 - ③一人で危険な場所や遠くへ行かない。
 - ④知らない人の誘いに応じない。



*** 自宅用として SNS を利用する児童の実態もあるようです。その際は「e ルール」について、しっかりとご家族で話し合われますようお願いいたします。**

- 健康
 - ①うがい・手洗いを励行する。
 - ②毎日、適度な運動をし、睡眠を十分にとる。
 - ③食事はバランスよくとる。



ひとりひとりにとって充実した楽しい夏休みになりますように！

和太鼓の響きに魅せられて！

本校に和太鼓の心地よい音が響きわたるようになったきっかけは、2年前、卒業生の皆様が和太鼓を寄贈してくださったことでした。翌年、すぐに音楽の廣川遥教諭を中心に有志が集まり、「和太鼓クラブ」が結成！



先日の文教まつりでは、久しぶりに組まれたやぐらの上で、見事な「ばちさばき」を見せてくれました。



今年度の8月末の教育振興事業は、和太鼓「楓」をお招きする予定でもあり、ますます和太鼓熱は熱くなりそうです。



和太鼓クラブの子どもたちにインタビュー

なぜ和太鼓に 引きつけられたのですか。

「音が体中に響いて気持ちいい！」
「炭坑節を聴いたことがきっかけです。」
「太鼓って、音楽と運動が融合している
じゃないですか。そこです！」

和太鼓にむける情熱！

「和太鼓に対する良いイメージ
をみんなにもってもらえるよう
頑張ります！」
「これからも
ずっと続けたいです」
「もっとうまくなって
下級生から憧れられる存在に
なりたいです。」